

大学院医歯学総合研究科
病院経営人材養成コース
履修要項

2026 年度

東京科学大学大学院

目 次

1. 「病院経営人材養成コース」カリキュラム	1
2. 2026年度病院経営人材養成コース時間割	2
3. 授業科目の講義内容	
(1) 実践病院経営ワークショップ	1 1
(2) 財務・会計	1 2
(3) 診療情報管理学	1 3
(4) 医療機関リスク管理	1 5
(5) 医療のTQM	1 7
(6) 医療政策概論	1 9
(7) 医療政策各論	2 2
(8) 病院設計・病院設備	2 9
(9) 衛生工学・汚染管理	3 1
(10) 人的資源管理(休講)	3 3
(11) 医療とリーダーシップ	3 4
4. 出欠確認について	3 8
5. 教室案内図	3 9

2026年度「病院経営人材養成コース」 カリキュラム

【1】開設科目一覧

科目名	必修／選択	単位数	時間数
実践病院経営ワークショップ※1	必修	—	10h
財務・会計	必修	1	15h
診療情報管理学	必修	1	15h
医療機関リスク管理※2	選択必修	1	15h
医療のTQM※2	選択必修	1	15h
医療政策概論	選択	1	15h
医療政策各論	選択	3	45h
病院設計・病院設備	選択	1	15h
衛生工学・汚染管理	選択	1	15h
人的資源管理（休講）	選択	1	15h
医療とリーダーシップ	選択	1	15h

※1 実践病院経営ワークショップ以外は医歯学総合研究科修士課程 MMA コース開設科目

※2 いずれか1科目以上を選択し、履修登録すること。

【2】修了要件

必修科目（40時間）、選択必修科目（15時間以上）を含めて 合計85時間（5単位）以上を履修すること。

【3】修業年限

1年（ただし、勤務状況により複数年かけての受講を希望する場合は履修登録時にその旨を申し出ること）

【4】履修対象者

将来的に大学病院等での経営に携わる意欲のある医師管理職、一般医師、医療従事者、医療事務職。

なお、大学院修士課程に相当するカリキュラムであるため、学部卒業程度の学歴があることを出願要件とする。

2026年度 病院経営人材養成コース授業科目時間割

1時限は18:00~19:30、2時限は19:40~21:10

ライブ・・・Zoomによる「同時」かつ「双方向」の遠隔授業

対面・・・「同時」かつ「双方向」の面接授業

ハイフレックス・・・ライブと対面の同時並行実施

オンデマンド・・・Web classへ講義動画アップロード

※：いずれか1科目以上を選択し、履修登録すること。

☆：必修科目（大学院医歯学総合研究科修士課程医歯理工保健学専攻医療管理政策学（MMA）コース科目）

★：選択科目（大学院医歯学総合研究科修士課程医歯理工保健学専攻医療管理政策学（MMA）コース科目）

☆★：選択必修（大学院医歯学総合研究科修士課程医歯理工保健学専攻医療管理政策学（MMA）コース科目）

●：必修科目：ワークショップ形式による学習成果発表と総合討論

月日	曜日	1 18:00-19:30	2 19:40-21:10	その他
4月1日	水			
4月2日	木			
4月3日	金			
4月4日	土			
4月5日	日			
4月6日	月			
4月7日	火			
4月8日	水	★1.1 医療政策概論1	★1.1 医療政策概論2	
4月9日	木	★1.1 医療政策概論3	★1.1 医療政策概論4	
4月10日	金			
4月11日	土			
4月12日	日			
4月13日	月	★1.1 医療政策概論5	★1.1 医療政策概論6	
4月14日	火			
4月15日	水	★1.1 医療政策概論7	★1.1 医療政策概論8	
4月16日	木	★1.5 医療政策各論1	★1.5 医療政策各論2	
4月17日	金			
4月18日	土			
4月19日	日			
4月20日	月	★1.5 医療政策各論3	★1.5 医療政策各論4	
4月21日	火			
4月22日	水	★1.5 医療政策各論5	★1.5 医療政策各論6	
4月23日	木			
4月24日	金			
4月25日	土			
4月26日	日			
4月27日	月			
4月28日	火			
4月29日	水			
4月30日	木			

2026年度 病院経営人材養成コース授業科目時間割

1時限は18:00~19:30、2時限は19:40~21:10

ライブ・・・Zoomによる「同時」かつ「双方向」の遠隔授業

対面・・・「同時」かつ「双方向」の面接授業

ハイフレックス・・・ライブと対面の同時並行実施

オンデマンド・・・Web class^講義動画アップロード

※：いずれか1科目以上を選択し、履修登録すること。

☆：必修科目（大学院医歯学総合研究科修士課程医歯理工保健学専攻医療管理政策学（MMA）コース科目）

★：選択科目（大学院医歯学総合研究科修士課程医歯理工保健学専攻医療管理政策学（MMA）コース科目）

☆☆：選択必修（大学院医歯学総合研究科修士課程医歯理工保健学専攻医療管理政策学（MMA）コース科目）

●：必修科目：ワークショップ形式による学習成果発表と総合討論

月日	曜日	1 18:00-19:30	2 19:40-21:10	その他
5月1日	金			
5月2日	土			
5月3日	日			
5月4日	月			
5月5日	火			
5月6日	水			
5月7日	木			
5月8日	金			
5月9日	土			
5月10日	日			
5月11日	月	☆☆2.1 医療機関リスク管理1※	☆☆2.1 医療機関リスク管理2※	
5月12日	火			
5月13日	水	☆☆2.1 医療機関リスク管理3※	☆☆2.1 医療機関リスク管理4※	
5月14日	木	☆☆2.1 医療機関リスク管理5※	☆☆2.1 医療機関リスク管理6※	
5月15日	金	☆☆2.1 医療機関リスク管理7※	☆☆2.1 医療機関リスク管理8※	
5月16日	土			
5月17日	日			
5月18日	月			
5月19日	火			
5月20日	水			
5月21日	木	★1.5 医療政策各論7	★1.5 医療政策各論8	
5月22日	金			
5月23日	土			
5月24日	日			
5月25日	月	★1.5 医療政策各論9	★1.5 医療政策各論10	
5月26日	火			
5月27日	水	★1.5 医療政策各論11	★1.5 医療政策各論12	
5月28日	木			
5月29日	金			
5月30日	土			
5月31日	日			

2026年度 病院経営人材養成コース授業科目時間割

1時限は18:00~19:30、2時限は19:40~21:10

ライブ・・・Zoomによる「同時」かつ「双方向」の遠隔授業

対面・・・「同時」かつ「双方向」の面接授業

ハイフレックス・・・ライブと対面の同時並行実施

オンデマンド・・・Web class^講義動画アップロード

※：いずれか1科目以上を選択し、履修登録すること。

☆：必修科目（大学院医歯学総合研究科修士課程医歯理工保健学専攻医療管理政策学（MMA）コース科目）

★：選択科目（大学院医歯学総合研究科修士課程医歯理工保健学専攻医療管理政策学（MMA）コース科目）

☆★：選択必修（大学院医歯学総合研究科修士課程医歯理工保健学専攻医療管理政策学（MMA）コース科目）

●：必修科目：ワークショップ形式による学習成果発表と総合討論

月日	曜日	1 18:00-19:30	2 19:40-21:10	その他
6月1日	月	★1.5 医療政策各論13	★1.5 医療政策各論14	
6月2日	火			
6月3日	水	★1.5 医療政策各論15	★1.5 医療政策各論16	
6月4日	木	★1.5 医療政策各論17	★1.5 医療政策各論18	
6月5日	金			
6月6日	土			
6月7日	日			
6月8日	月			
6月9日	火			
6月10日	水			
6月11日	木			
6月12日	金			
6月13日	土			
6月14日	日			
6月15日	月			
6月16日	火			
6月17日	水			
6月18日	木			
6月19日	金			
6月20日	土			
6月21日	日			
6月22日	月			
6月23日	火			
6月24日	水			
6月25日	木			
6月26日	金			
6月27日	土			
6月28日	日			●実践病院経営ワークショップ
6月29日	月			
6月30日	火			

2026年度 病院経営人材養成コース授業科目時間割

1時限は18:00~19:30、2時限は19:40~21:10

ライブ・・・Zoomによる「同時」かつ「双方向」の遠隔授業

対面・・・「同時」かつ「双方向」の面接授業

ハイフレックス・・・ライブと対面の同時並行実施

オンデマンド・・・Web class^講義動画アップロード

※：いずれか1科目以上を選択し、履修登録すること。

☆：必修科目（大学院医歯学総合研究科修士課程医歯理工保健学専攻医療管理政策学（MMA）コース科目）

★：選択科目（大学院医歯学総合研究科修士課程医歯理工保健学専攻医療管理政策学（MMA）コース科目）

☆☆：選択必修（大学院医歯学総合研究科修士課程医歯理工保健学専攻医療管理政策学（MMA）コース科目）

●：必修科目：ワークショップ形式による学習成果発表と総合討論

月日	曜日	1 18:00-19:30	2 19:40-21:10	その他
7月1日	水			
7月2日	木			
7月3日	金			
7月4日	土			
7月5日	日			
7月6日	月	☆4.1 診療情報管理学1	☆4.1 診療情報管理学2	
7月7日	火	☆4.1 診療情報管理学3	☆4.1 診療情報管理学4	
7月8日	水	☆4.1 診療情報管理学5	☆4.1 診療情報管理学6	
7月9日	木	☆4.1 診療情報管理学7	☆4.1 診療情報管理学8	
7月10日	金			
7月11日	土			
7月12日	日			
7月13日	月	★1.5 医療政策各論19	★1.5 医療政策各論20	
7月14日	火			
7月15日	水	★1.5 医療政策各論21	★1.5 医療政策各論22	
7月16日	木	★1.5 医療政策各論23	★1.5 医療政策各論24	
7月17日	金			
7月18日	土			
7月19日	日			
7月20日	月			
7月21日	火			
7月22日	水			
7月23日	木			
7月24日	金			
7月25日	土			
7月26日	日			
7月27日	月			
7月28日	火			
7月29日	水			
7月30日	木			
7月31日	金			

2026年度 病院経営人材養成コース授業科目時間割

1時限は18:00~19:30、2時限は19:40~21:10

ライブ・・・Zoomによる「同時」かつ「双方向」の遠隔授業

対面・・・「同時」かつ「双方向」の面接授業

ハイフレックス・・・ライブと対面の同時並行実施

オンデマンド・・・Web class^講義動画アップロード

※：いずれか1科目以上を選択し、履修登録すること。

☆：必修科目（大学院医歯学総合研究科修士課程医歯理工保健学専攻医療管理政策学（MMA）コース科目）

★：選択科目（大学院医歯学総合研究科修士課程医歯理工保健学専攻医療管理政策学（MMA）コース科目）

☆☆：選択必修（大学院医歯学総合研究科修士課程医歯理工保健学専攻医療管理政策学（MMA）コース科目）

●：必修科目：ワークショップ形式による学習成果発表と総合討論

月日	曜日	1 18:00-19:30	2 19:40-21:10	その他
8月1日	土			
8月2日	日			
8月3日	月			
8月4日	火			
8月5日	水			
8月6日	木			
8月7日	金			
8月8日	土			
8月9日	日			
8月10日	月			
8月11日	火			
8月12日	水			
8月13日	木			
8月14日	金			
8月15日	土			
8月16日	日			
8月17日	月			
8月18日	火			
8月19日	水			
8月20日	木			
8月21日	金			
8月22日	土			
8月23日	日			
8月24日	月			
8月25日	火			
8月26日	水			
8月27日	木			
8月28日	金			
8月29日	土			
8月30日	日			
8月31日	月	☆☆6.1 病院設計・病院設備1	☆☆6.1 病院設計・病院設備2	

2026年度 病院経営人材養成コース授業科目時間割

1時限は18:00~19:30、2時限は19:40~21:10

ライブ・・・Zoomによる「同時」かつ「双方向」の遠隔授業

対面・・・「同時」かつ「双方向」の面接授業

ハイフレックス・・・ライブと対面の同時並行実施

オンデマンド・・・Web classへ講義動画アップロード

※：いずれか1科目以上を選択し、履修登録すること。

☆：必修科目（大学院医歯学総合研究科修士課程医歯理工保健学専攻医療管理政策学（MMA）コース科目）

★：選択科目（大学院医歯学総合研究科修士課程医歯理工保健学専攻医療管理政策学（MMA）コース科目）

☆☆：選択必修（大学院医歯学総合研究科修士課程医歯理工保健学専攻医療管理政策学（MMA）コース科目）

●：必修科目：ワークショップ形式による学習成果発表と総合討論

月日	曜日	1 18:00-19:30	2 19:40-21:10	その他
9月1日	火	☆☆6.1 病院設計・病院設備3	☆☆6.1 病院設計・病院設備4	
9月2日	水	☆☆6.1 病院設計・病院設備5	☆☆6.1 病院設計・病院設備6	
9月3日	木	☆☆6.1 病院設計・病院設備7	☆☆6.1 病院設計・病院設備8	
9月4日	金			
9月5日	土			
9月6日	日			
9月7日	月	☆☆2.2 医療のTQM1※	☆☆2.2 医療のTQM2※	
9月8日	火	☆☆2.2 医療のTQM3※	☆☆2.2 医療のTQM4※	
9月9日	水	☆☆2.2 医療のTQM5※	☆☆2.2 医療のTQM6※	
9月10日	木	☆☆2.2 医療のTQM7※	☆☆2.2 医療のTQM8※	
9月11日	金			
9月12日	土			
9月13日	日			
9月14日	月	★6.2 衛生工学・汚染管理1	★6.2 衛生工学・汚染管理2	
9月15日	火	★6.2 衛生工学・汚染管理3	★6.2 衛生工学・汚染管理4	
9月16日	水	★6.2 衛生工学・汚染管理5	★6.2 衛生工学・汚染管理6	
9月17日	木	★6.2 衛生工学・汚染管理7	★6.2 衛生工学・汚染管理8	
9月18日	金			
9月19日	土			
9月20日	日			
9月21日	月			
9月22日	火			
9月23日	水			
9月24日	木			
9月25日	金			
9月26日	土			
9月27日	日			
9月28日	月			
9月29日	火			
9月30日	水			

2026年度 病院経営人材養成コース授業科目時間割

1時限は18:00~19:30、2時限は19:40~21:10

ライブ・・・Zoomによる「同時」かつ「双方向」の遠隔授業

対面・・・「同時」かつ「双方向」の面接授業

ハイフレックス・・・ライブと対面の同時並行実施

オンデマンド・・・Web class^講義動画アップロード

※：いずれか1科目以上を選択し、履修登録すること。

☆：必修科目（大学院医歯学総合研究科修士課程医歯理工保健学専攻医療管理政策学（MMA）コース科目）

★：選択科目（大学院医歯学総合研究科修士課程医歯理工保健学専攻医療管理政策学（MMA）コース科目）

☆★：選択必修（大学院医歯学総合研究科修士課程医歯理工保健学専攻医療管理政策学（MMA）コース科目）

●：必修科目：ワークショップ形式による学習成果発表と総合討論

月日	曜日	1 18:00-19:30	2 19:40-21:10	その他
10月1日	木			
10月2日	金			
10月3日	土			
10月4日	日			
10月5日	月	☆7.3 財務・会計1	☆7.3 財務・会計2	
10月6日	火	☆7.3 財務・会計3	☆7.3 財務・会計4	
10月7日	水	☆7.3 財務・会計5	☆7.3 財務・会計6	
10月8日	木	☆7.3 財務・会計7	☆7.3 財務・会計8	
10月9日	金			
10月10日	土			
10月11日	日			
10月12日	月			
10月13日	火			
10月14日	水			
10月15日	木			
10月16日	金			
10月17日	土			
10月18日	日			
10月19日	月			
10月20日	火			
10月21日	水			
10月22日	木			
10月23日	金			
10月24日	土			
10月25日	日			
10月26日	月			
10月27日	火			
10月28日	水			
10月29日	木			
10月30日	金			
10月31日	土			

2026年度 病院経営人材養成コース授業科目時間割

1時限は18:00~19:30、2時限は19:40~21:10

ライブ・・・Zoomによる「同時」かつ「双方向」の遠隔授業

対面・・・「同時」かつ「双方向」の面接授業

ハイフレックス・・・ライブと対面の同時並行実施

オンデマンド・・・Web class^講義動画アップロード

※：いずれか1科目以上を選択し、履修登録すること。

☆：必修科目（大学院医歯学総合研究科修士課程医歯理工保健学専攻医療管理政策学（MMA）コース科目）

★：選択科目（大学院医歯学総合研究科修士課程医歯理工保健学専攻医療管理政策学（MMA）コース科目）

☆★：選択必修（大学院医歯学総合研究科修士課程医歯理工保健学専攻医療管理政策学（MMA）コース科目）

●：必修科目：ワークショップ形式による学習成果発表と総合討論

月日	曜日	1 18:00-19:30	2 19:40-21:10	その他
11月1日	日			
11月2日	月			
11月3日	火			
11月4日	水			
11月5日	木			
11月6日	金			
11月7日	土			
11月8日	日			
11月9日	月			
11月10日	火			
11月11日	水			
11月12日	木			
11月13日	金			
11月14日	土			
11月15日	日			
11月16日	月	★7.1医療とリーダーシップ1	★7.1医療とリーダーシップ2	
11月17日	火	★7.1医療とリーダーシップ3	★7.1医療とリーダーシップ4	
11月18日	水	★7.1医療とリーダーシップ5	★7.1医療とリーダーシップ6	
11月19日	木	★7.1医療とリーダーシップ7	★7.1医療とリーダーシップ8	
11月20日	金			
11月21日	土			
11月22日	日			
11月23日	月			
11月24日	火			
11月25日	水			
11月26日	木			
11月27日	金			
11月28日	土			
11月29日	日			
11月30日	月			

2026年度 病院経営人材養成コース授業科目時間割

1時限は18:00~19:30、2時限は19:40~21:10

ライブ・・・Zoomによる「同時」かつ「双方向」の遠隔授業

対面・・・「同時」かつ「双方向」の面接授業

ハイフレックス・・・ライブと対面の同時並行実施

オンデマンド・・・Web class^講義動画アップロード

※：いずれか1科目以上を選択し、履修登録すること。

☆：必修科目（大学院医歯学総合研究科修士課程医歯理工保健学専攻医療管理政策学（MMA）コース科目）

★：選択科目（大学院医歯学総合研究科修士課程医歯理工保健学専攻医療管理政策学（MMA）コース科目）

☆★：選択必修（大学院医歯学総合研究科修士課程医歯理工保健学専攻医療管理政策学（MMA）コース科目）

●：必修科目：ワークショップ形式による学習成果発表と総合討論

月日	曜日	1 18:00-19:30	2 19:40-21:10	その他
12月1日	火			
12月2日	水			
12月3日	木			
12月4日	金			
12月5日	土			
12月6日	日			●実践病院経営ワークショップ
12月7日	月			
12月8日	火			
12月9日	水			
12月10日	木			
12月11日	金			
12月12日	土			

時間割番号	-				
科目名	実践病院経営ワークショップ	科目ID	-		
担当教員	, 岡田 就将[OKADA SYUSYO]				
開講時期	2026 年度通年	対象年次	1~		
10 時間					
全て日本語で行う。					
主な講義場所 M&D タワー4 階 アクティブラーニング教室					
授業の目的、概要等					
授業目的 「実践病院経営ワークショップ」としてのケーススタディを実施する。病院経営の実績豊富な病院幹部経験者等がファシリテーター役を担って、病院幹部候補者である受講生が各自の病院事例を持ち寄り、認識されている諸課題を呈示して議論を深める。様々な課題について、それぞれの病院の固有の課題と共通性を持つ課題の整理を行い、病院固有の課題に関しては、他の受講者が第三者的な立場から意見を述べ、課題呈示者が解決への方策を考察する。一方、共通する課題に関しては、他の受講者の類似事例も併せて呈示し、問題点を整理の上、課題への対応手法を共有し、自身の病院での対応策を考察する。					
概要 第 1 日: 受講者個別病院の課題に関するケーススタディと、問題点の本質に関する相互討論 第 2 日: 受講者個別病院の課題に関するケーススタディとして、本プログラムで学習した成果を反映した形での課題解決策を相互に提示し、合同討論を行う。					
授業の到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> 個別病院の医療データを用いて、包括的な課題を明らかにすることができる能力を身につける。 様々な課題に対して、その解決のための具体的な手順を提案し、PDCA 手法に基づく実行を主導することができる。 					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	6/28	13:00-18:00	アクティブラーニング教室	受講者各自が病院事例を持ち寄り認識されている諸課題について発表を行う。年間の授業成果を活かして分析、検討を行うべく、各自年間検討課題等を設定する	岡田 就将
2	12/6	13:00-18:00	アクティブラーニング教室	年間の学習内容を総括し、課題研究等について発表を行う。参加者とともにディスカッションを行い自施設での応用などにつき議論を深める。	岡田 就将
授業方法					
講義・演習(受講者からの発表を含む)形式による。					
授業内容					
別表のとおり。					
成績評価の方法					
出席(20%)、発表内容(40%)および討論参加(40%)を総合的に評価する。					
準備学習等についての具体的な指示					
第 1 回ワークショップ:「自院の紹介および自院の病院経営上の諸課題について」をテーマとし、発表資料をパワーポイントで作成。様式任意。発表時間15分間。その後15分間の質疑応答に対応する準備をしておくことが望ましい。発表資料は、ワークショップ 1 週間前までに E-mail で次のアドレス宛に送付すること。 E-mail アドレス: grad02@ml.tmd.ac.jp 件名: 実践病院経営ワークショップ課題提出 第 2 回ワークショップ: メールにて詳細を連絡する。					
履修上の注意事項					
特になし。					
連絡先(メールアドレス)					
岡田 就将: sokdhcm@tmd.ac.jp					
オフィスアワー					
岡田 就将: 毎週水曜日 PM1:00-PM3:00 MDタワー16 階南 事前にご連絡ください。					

時間割番号	31625			科目ID	GA-b4072L																														
科目名	財務・会計																																		
担当教員	新城 大輔, 荒井 耕[SHINJO Daisuke, ARAI Ko]																																		
開講時期	2026 年度後期	対象年次	1~	単位数	1																														
実務経験のある教員による授業				授業形態	メディア利用科目																														
<p>全て日本語で行う。 キーワード: 管理会計、経営管理、原価計算</p>																																			
<p>主な講義場所 ライブ</p>																																			
<p>授業の目的、概要等 授業目的 医療界における会計について理解を深める。</p> <p>概要 まず会計の基本としての財務諸表の見方について講義する。次いで、管理会計の基礎的内容について講義し、責任センターマネジメントとしての管理会計、戦略遂行マネジメントとしての管理会計(医療界におけるバランスト・スコアカード)、経営情報マネジメントとしての管理会計(医療界における原価計算)について詳細に議論する。</p>																																			
<p>授業の到達目標 伝統的に産業界で活用されてきた各種の会計手法の医療界での活用可能性と修正すべき点について、しっかりと考察できるようになることを目標とする。</p>																																			
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>10/5</td> <td>18:00-21:10</td> <td>ライブ</td> <td>財務諸表の見方</td> <td>阪口 博政</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>10/6</td> <td>18:00-21:10</td> <td>ライブ</td> <td>管理会計の基礎/医療界における責任センターマネジメントとしての管理会計</td> <td>阪口 博政</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>10/7</td> <td>18:00-21:10</td> <td>ライブ</td> <td>医療界におけるバランスト・スコアカード</td> <td>渡邊 亮</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>10/8</td> <td>18:00-21:10</td> <td>ライブ</td> <td>医療界における原価計算</td> <td>荒井 耕</td> </tr> </tbody> </table>						回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	1	10/5	18:00-21:10	ライブ	財務諸表の見方	阪口 博政	2	10/6	18:00-21:10	ライブ	管理会計の基礎/医療界における責任センターマネジメントとしての管理会計	阪口 博政	3	10/7	18:00-21:10	ライブ	医療界におけるバランスト・スコアカード	渡邊 亮	4	10/8	18:00-21:10	ライブ	医療界における原価計算	荒井 耕
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員																														
1	10/5	18:00-21:10	ライブ	財務諸表の見方	阪口 博政																														
2	10/6	18:00-21:10	ライブ	管理会計の基礎/医療界における責任センターマネジメントとしての管理会計	阪口 博政																														
3	10/7	18:00-21:10	ライブ	医療界におけるバランスト・スコアカード	渡邊 亮																														
4	10/8	18:00-21:10	ライブ	医療界における原価計算	荒井 耕																														
<p>授業方法 講義形式による。</p>																																			
<p>授業内容 ① 財務諸表の見方(電卓持参のこと) ② 管理会計の基礎と医療界における責任センターマネジメントとしての管理会計 ③ 医療界におけるバランスト・スコアカード ④ 医療界における原価計算</p>																																			
<p>成績評価の方法 参加状況(最低2回)と授業及び教科書の熟読を踏まえた上での医療管理会計に関するレポートで評価。</p>																																			
<p>準備学習等についての具体的な指示 あらかじめ教科書をよんでおくこと。</p>																																			
<p>教科書 荒井 耕「多角経営時代の医療法人管理会計:有効活用による経営持続性の向上」(中央経済社)2024 年</p>																																			
<p>履修上の注意事項 「7.2 戦略と組織」の授業をよく理解しておくこと。</p>																																			
<p>連絡先(メールアドレス) 新城 大輔:dshinjo.hci@tmd.ac.jp 荒井 耕:ko.arai@r.hit-u.ac.jp</p>																																			
<p>オフィスアワー 新城 大輔:特に定めませんが、講義に関する質問等については適時メール等で問い合わせください。 荒井 耕:科目担当者にメールで相談すること。</p>																																			

時間割番号	31617			科目ID	GA-b4042L																														
科目名	診療情報管理学																																		
担当教員	新城 大輔, 阿南 誠, 清水 沙友里, 桑原 比呂世[SHINJO Daisuke, ANANN Makoto, SHIMIZU Sayuri, KUWABARA Hiroyo]																																		
開講時期	2026 年度前期	対象年次	1~	単位数	1																														
実務経験のある教員による授業				授業形態	メディア利用科目																														
全て日本語で行う。																																			
主な講義場所 ライブ、ハイフレックス型講義(ライブと対面講義並行)																																			
授業の目的、概要等 授業目的 診療情報その管理の概要を理解するとともに、診療情報を活用した様々な医療評価手法を理解することを目的とする。 概要 診療情報管理、診断群分類、包括評価、厚生統計等に関する最新の資料を配付し、プレゼンテーションを用いて講義を行った上で、質疑応答や学生の実務上の経験や意見に基づく討論等で理解を深める。配布使用予定の資料としては、ICD10 コーディングのガイドライン、診断群分類 DPC に関する中医協資料抜粋と厚生労働省研究班報告書抜粋、包括評価対応のためのマニュアル、厚生労働省諸統計の概要と研究報告書抜粋、諸論文の抜粋等を予定している。																																			
授業の到達目標 ① 診療情報管理の概念とその実務を理解すること。 ② 診断群分類および包括評価の概念と実務およびそれらの医療管理評価への応用を理解すること。 ③ 診療情報、統計情報等のデータマネージメントと研究的活用方法を理解すること。																																			
授業計画 <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>7/6</td> <td>18:00-21:10</td> <td>ライブ</td> <td>診療情報管理・分析総論</td> <td>新城 大輔</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>7/7</td> <td>18:00-21:10</td> <td>共用講義室 1</td> <td>DPC データと診療情報分析手法</td> <td>清水 沙友里, 新城 大輔</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>7/8</td> <td>18:00-21:10</td> <td>ライブ</td> <td>ICD と診療情報管理の基礎/診療情報を用いた医療評価</td> <td>阿部 幸喜, 新城 大輔</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>7/9</td> <td>18:00-21:10</td> <td>共用講義室 1, ライブ</td> <td>診療情報を用いた医療評価/病院情報システムと診療情報管理</td> <td>新城 大輔, 藍 真澄</td> </tr> </tbody> </table>						回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	1	7/6	18:00-21:10	ライブ	診療情報管理・分析総論	新城 大輔	2	7/7	18:00-21:10	共用講義室 1	DPC データと診療情報分析手法	清水 沙友里, 新城 大輔	3	7/8	18:00-21:10	ライブ	ICD と診療情報管理の基礎/診療情報を用いた医療評価	阿部 幸喜, 新城 大輔	4	7/9	18:00-21:10	共用講義室 1, ライブ	診療情報を用いた医療評価/病院情報システムと診療情報管理	新城 大輔, 藍 真澄
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員																														
1	7/6	18:00-21:10	ライブ	診療情報管理・分析総論	新城 大輔																														
2	7/7	18:00-21:10	共用講義室 1	DPC データと診療情報分析手法	清水 沙友里, 新城 大輔																														
3	7/8	18:00-21:10	ライブ	ICD と診療情報管理の基礎/診療情報を用いた医療評価	阿部 幸喜, 新城 大輔																														
4	7/9	18:00-21:10	共用講義室 1, ライブ	診療情報を用いた医療評価/病院情報システムと診療情報管理	新城 大輔, 藍 真澄																														
授業方法 講義形式による。																																			
授業内容 第1日:診療情報管理総論、診療録管理の理論と実務、傷病名コーディングの理論と実務、診療報酬関連情報管理の実務、診断群分類の導入と効率的診療情報管理等に関する講義と討論(阿南講師) 第2日:診断群分類の理論と国際比較、日本版診断群分類 DPC と包括評価の理論と実務、診断群分類を用いた医療管理の理論と実際等に関する講義と討論 第3日: DPC データの構造と意味(清水講師)、DPC データ等の医療業務データの分析手法(桑原講師) 第4日:診断群分類を用いた医療の評価、我が国の医療提供体制の評価への診断群分類の応用、地域医療資源配分計画法、地域保健医療計画と診断群分類等に関する講義と討論																																			
成績評価の方法 成績評価は提出レポート内容(50点)と参加状況(50点)を総合して評価する。																																			
準備学習等についての具体的な指示 診療記録関連の法的背景、診療録の電子記録、診療記録の作成技法等については触れる時間がほとんど無いため、他講または参考書にてその概略を理解しておくことが望ましい。																																			
参考書 「診療情報による医療評価. DPC データから見る医療の質」.(東京大学出版会)「DPCデータ活用ブック・第二版」(じほう社)「21世紀の医療と診断群分類」(じほう社)「DPCと病院マネジメント」(じほう社)「疾病、傷害および死因統計分類提要」第2巻(厚生統計協会)「経営力・診療力を高める DPC データ活用術」(日経ヘルスケア). 等																																			

他科目との関連

医療提供体制の設計と評価の点で「1.1 医療政策概論」と、診療情報の電子化や病院システムとの関連で「4.1 病院情報管理学」と関連すると考えられる。

連絡先(メールアドレス)

新城 大輔:dshinjo.hci@tmd.ac.jp

桑原 比呂世:bxk03410@nifty.com

清水 沙友里:sshihci@gmail.com

阿南 誠:mako@mw.kawasaki-m.ac.jp

オフィスアワー

新城 大輔特に定めませんが、講義に関する質問等については適時メール等で問い合わせください。

時間割番号	31610				
科目名	医療機関リスク管理	科目ID	GA-b4022L		
担当教員	工藤 篤, 永田 将司, 具 芳明, 植木 穰[KUDO Atsushi, NAGATA Masashi, GU Yoshiaki, UEKI Yutaka]				
開講時期	2026 年度前期	対象年次	1~	単位数	1
実務経験のある教員による授業				授業形態	対面
全て日本語で行う。					
主な講義場所 対面授業(M&D タワー2階 共用講義室1)					
授業の目的、概要等 授業目的 <ul style="list-style-type: none"> ・大学病院における医療リスク管理とメディカルリスク分析 ・インシデントレポート分析 ・医療機関における感染症対策、クライシスマネジメント ・医薬品の適正使用 <p>医療機関における医療安全管理とそのシステム構築について講述する。安全管理レポート、医療安全管理委員会、医薬品の適正使用、高難度新規医療技術の評価、監査委員会、医療事故調査委員会、医療事故調査制度の役割と限界、について講義を行う。</p>					
授業の到達目標 <ul style="list-style-type: none"> ・医療機関におけるリスクマネジメントの実際を理解し、メディカルリスクマネジメントの手法を学ぶ。 ・医薬品の関わるリスクと安全対策を理解する。 ・医療機関における感染症対策と危機管理を理解する。 ・医療機関におけるクライシスマネジメントを理解する。 					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	5/11	18:00-21:10	共用講義室1	院内感染対策と危機管理	具 芳明
2	5/13	18:00-21:10	共用講義室1	医薬品の安全管理	永田 将司
3	5/14	18:00-21:10	共用講義室1	災害における危機管理	植木 穰
4	5/15	18:00-21:10	共用講義室1	病院における医療安全管理	工藤 篤
授業方法 講義形式による。					
授業内容 別表のとおり。					
成績評価の方法 討議、議論への参加状況や、発表・発言等といった参画状況を判断し総合的に評価する。					
準備学習等についての具体的な指示 特になし。					
教科書 特になし。					
参考書 米国医療の質委員会／医学研究所「人は誰でも間違える」(日本評論社) 中島和江、児玉安司「ヘルスケアマネジメント」(医学書院) 河野龍太郎「医療におけるヒューマンエラー」(医学書院)					
他科目との関連 「2.1 医療と社会の安全管理」が国全体もしくは社会の安全管理を主として論ずるのに対し、本講では医療機関レベルでの問題にフォーカスを絞って述べる予定である。					
連絡先(メールアドレス) 工藤 篤:kudou.a.7bde@misct.ac.jp					

具 芳明:yogu.cid@tmd.ac.jp

植木 穰:ueki.yutaka.accm@tmd.ac.jp

永田 将司:mna-mpha@tmd.ac.jp

オフィスアワー

工藤 篤:毎週火曜日 13-16 時 M&D タワー16 階 北 医療安全管理学分野 教授室

具 芳明:毎週月曜日 14-16 時 毎週金曜日 14-16 時 M&D タワー17 階 N-1702 統合臨床感染症学分野教授室

永田 将司:オフィスアワーは特に定めませんが、事前連絡してから訪問すること

時間割番号	31611			科目ID	GA-b4023L
科目名	医療のTQM			科目ID	GA-b4023L
担当教員	新城 大輔, 本橋 隆子, 小林 美亜[SHINJO Daisuke, MOTOHASHI Takako, KOBAYASHI Mia]				
開講時期	2026 年度後期	対象年次	1~	単位数	1
実務経験のある教員による授業				授業形態	メディア利用科目
全て日本語で行う。					
主な講義場所 ライブあるいは対面講義					
授業の目的、概要等 授業目的 医療の質保証活動である TQM の方法論およびクリニカルパスについての理解を深める。 概要 日本においても医療の質についての議論が行われるようになってきているが、社会が納得できるような意味での質保証は未だ十分には行われていない。ここでは、医療における質保証の基本的な方法論について習得し、またそれを実践する上での問題点について検討する。					
授業の到達目標 ① 医療の質の要素について理解を深める。 ② 医療の質保証の方法論とクリニカルパスについて修得する。 ③ 日本における医療の質保証の現状について説明する。 ④ 今後の医療におけるTQMの活動について議論できる。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	9/7	18:00-21:10	ライブ	医療の質評価とPDCA	本橋 隆子, 新城 大輔
2	9/8	18:00-21:10	大学院講義室 2	グループワーク	本橋 隆子, 新城 大輔
3	9/9	18:00-21:10	ライブ	発表会討論	本橋 隆子, 新城 大輔
4	9/10	18:00-21:10	ライブ	クリニカルパス	小林 美亜, 新城 大輔
授業方法 講義形式および演習(ケーススタディー)による。					
授業内容 別表のとおり。					
成績評価の方法 成績評価は、参加状況(50 点)および講義中に課す演習の評価(50 点)の総合評価による。					
準備学習等についての具体的な指示 教科書および参考書などに目を通しておくこと。また、医療機関におけるTQM活動について情報収集しておくこと。					
教科書 ・上原、黒田、飯塚、棟近、小柳津「医療の質マネジメント～医療機関における ISO 9001 の活用～」(日本規格協会)2003 年 ・飯塚、棟近、上原「医療の質マネジメントシステム～医療機関必携 質向上につながる ISO 導入ガイド」(日本規格協会)2006 年					
参考書 ・高瀬、阿部 編「エビデンスに基づくクリニカルパス～これからの医療記録とヴァリアンス分析～」(医学書院)2000 年 ・日本クリニカルパス学会編「クリニカルパス用語解説集 題 2 版」(サイエンティスト社)2019 年 ・飯田修平「医療における総合的質経営」(日科技連)2003 年 ・飯田修平、飯塚悦功、棟近雅彦 監修「医療の質用語事典」(日本規格協会)2005 年 ・飯塚悦功、棟近雅彦、上原鳴夫監修「医療の質マネジメントシステム～医療機関必携 質向上につながる ISO 導入ガイド～」(日本規格協会)2006 年 ・飯塚悦功、水流聡子「医療品質経営」(医療企画)2010 年 その他必要に応じて指示する。					

他科目との関連

系2の「医療機関リスク管理」全般との関連も深いですが、系10の「臨床研究・治験」との関連もある。

参照ホームページ

医療管理の中核をなす科目であるため、十分に習得すること。

連絡先(メールアドレス)

新城 大輔:dshinjo.hci@tmd.ac.jp

小林 美亜:miak@mti.biglobe.ne.jp

本橋 隆子:motohashi-takako@marianna-u.ac.jp

オフィスアワー

新城 大輔特に定めませんが、講義に関する質問等については適時メール等で問い合わせください。

時間割番号	31601			科目ID	GA-b4105L		
科目名	医療政策概論						
担当教員	岡田 就将, 土井 理美, 吉村 健佑, 伊角 彩, 初村 恵, 山本 光昭, 北村 義浩[OKADA Shusho, DOI Satomi, YOSHIMURA Kensuke, ISUMI Aya, HATSUMURA Kei, YAMAMOTO Mitsuki, KITAMURA Yoshihiro]						
開講時期	2026 年度前期	対象年次	1~	単位数	1		
実務経験のある教員による授業				授業形態	対面		
全て日本語で行う。							
主な講義場所 原則、対面授業により実施する。							
授業の目的、概要等 授業目的・概要 本科目はMMAコースの冒頭に配置され、その目的は医療政策全般の理解への足場づくりである。 わが国の医療は、国民皆保険など諸制度の下で提供されている。同時に、通知なども含めれば、これらの制度は医療技術の進歩や社会情勢の変化に合わせ、絶え間なく見直しがなされている。常に見直しがなされていること、そのこと自体が医療政策の特徴と言える。また、医療政策は、学術的には公衆衛生学・医学、法学、行政学、財政学など独立した学術体系がオーバーラップする領域に位置している。そして各国の医療制度は、それぞれの社会文化政治を背景に多岐に富んでいるが、このことは人々の生活や健康に直結し、政治的関心も高く、財政的にも影響が大きいことの現れである。 こうした背景から、今後、医療政策を正しく理解し、その提案者となるにあたっては、幅広く情報収集し、収集した情報を分析、解釈し、それに立脚した政策を検討し、他者にわかりやすく説明することが不可欠である。 本科目では、この先への足場づくりとして、わが国の医療提供を形作る諸制度に関する理解を得たうえで、医療政策の実施に不可欠であるステークホルダーとの折衝をイメージしたグループワークを取り入れた講義を展開する。							
授業の到達目標 <ul style="list-style-type: none"> ・わが国の医療提供を支える基本的な制度について理解している。 ・医療政策に関わるステークホルダーについて理解している。 ・近年の医療政策の方向性について理解している。 ・医療政策の見直しのために必要なプロセスについて理解している。 							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-2	4/8	18:00-21:10	共用講義室2	医療制度概論①	医療と公衆衛生 わが国の医療の歴史 医療の現状 医療医療を形作る諸制度 医療政策の形成過程 (ステークホルダー論)	岡田 就将	適宜、グループワークなども行います。
3-4	4/9	18:00-21:10	大学院講義室2	医療政策概論②	医療提供体制の構築 診療報酬制度	岡田 就将	適宜、グループワークなども行います。
5	4/13	18:00-19:30	ライブ	医療政策概論③	疾病対策・疾病予防政策	岡田 就将	
6	4/13	19:40-21:10	ライブ	日本におけるメンタルヘルス政策および子育て政策の現状とその課題	日本におけるメンタルヘルス政策および子育て政策の変遷と現状、研究を含めた最新の取り組みを紹介する。エビデンスに基づいた政策推進に向けた課題とその解決策について議論を行う。	岡田 就将, 土井 理美	
7	4/15	18:00-19:30	共用講義室1	新たな地域医療構想と病院経営	病院経営を取り巻く環境は社会経済情勢にも大きく左右される。本	岡田 就将, 佐藤 大介	藤田医科大学病院経営学・管理学

					科目では単なる政策紹介にとどまらず、病院が医療の質を高め経営の質を高めるための知見を深めるため、講義およびディスカッション形式で授業を行う。		教授の佐藤大介氏を交え、今後の病院経営を考える。
8	4/15	19:40-21:10	共用講義室1	現場から見える医療政策の実際 ～都道府県×大学での医師偏在対策の現実～	本講義では、千葉県と大学病院に身を置く立場から医師偏在対策の現状と限界を明らかにし、現場の視点から政策の効果と改善点、さらには今後大学に期待される役割を考察する。	岡田 就将、 吉村 健佑	千葉大学次世代医療構想センターの吉村健佑教授を交え、医師偏在対策を通して、医療政策の国、県、医療現場の関わりを考える。

授業方法

講義、グループワーク、発表、総合討論、レポートなどを行う。

授業内容

医療政策、公衆衛生、医療提供体制、医療保険制度、政策研究、医療機関経営、グループディスカッション

成績評価の方法

成績評価は、講義への出席(50点)および総合討議等への参加状況(30点)、レポート(20点)を総合して評価する。

成績評価の基準

上記合計で60点以上(100点満点)を合格とする。

準備学習等についての具体的な指示

マスメディアの情報も含めて、昨今の医療およびその周辺分野の状況を書籍・インターネット等で調べておく。

試験の受験資格

講義日の過半数出席の場合に受験資格を認める。

構成ユニット

医療政策、公衆衛生、医療提供体制、医療保険制度、政策研究、医療機関経営、終末期医療、グループディスカッション

モジュールの単位判定

成績評価は、テスト結果または提出されたレポートや発表の内容(30点)と講義への出席および総合討議等への参加状況(70点)を総合して評価する。

教科書

医食戦略2040:2040年の医療を生き抜く13の戦略/千葉大学医学部附属病院次世代医療構想センター,千葉大学医学部附属病院次世代医療構想センター 編,宮田裕章 [ほか] 著:ロギカ書房,2022.4

特になし。

参考書

- ①「日本の医療 制度と政策(増補改訂版)」島崎謙治(東京大学出版会)
- ②「公衆衛生の思想」多田羅浩三(医学書院)
- ③「日本の医療と介護」池上直樹(日本経済新聞出版社)
- ④「この国の医療のかたち 医療政策の動向と課題 2025年のヘルスケアシステム」尾形裕也(日本看護協会出版部)
- ⑤「ビッグデータと事例で考える日本の医療・介護の未来」松田晋也(勁草書房)
- ⑥「医療経済学の基礎理論と論点 講座 医療経済・政策学」第1巻～第6巻(勁草書房)
- ⑦「医療経営学」今村知明、康永秀生他(医学書院)
- ⑧「もっと気になる社会保障」権丈善一(勁草書房)
- ⑨「戦後医療の五十年」有岡二郎(日本医事新報社)
- ⑩「戦後行政の構造とディレンマ 予防接種行政の変遷」手塚洋輔(藤原書店)
- ⑪「物語 介護保険」大熊由紀子(岩波書店)
- ⑫「精神保健学 序説」篠崎英夫(へるす出版)

その他必要に応じて指示する。

他科目との関連 「医療保険論」等と関連する。
履修上の注意事項 講義中の質問や意見、総合討論などには積極的な参加が望まれる。
備考
連絡先(メールアドレス) 岡田 就将:sokd.hcm@tmd.ac.jp 土井 理美:doi.hlth@tmd.ac.jp
オフィスアワー 岡田 就将:毎週水曜日PM1:00-PM3:00 MDタワー16階南 事前にご連絡ください。

時間割番号	31643						
科目名	医療政策各論			科目ID	GA-b4106L		
担当教員	岡田 就将, 天辰 優太, 堀 義明, 小嶋 秀卓, 山崎 晋一郎, 古元 重和, 高山 啓, 佐藤 理, 林 修一郎, 西嶋 康浩, 木下 栄作, 江副 聡, 土井 理美, 吉村 健佑, 伊角 彩, 寺谷 俊康, 小椋 正之, 佐藤 大介, 一戸 和成 [OKADA Shusho, TENTATSU Yuta, HORI Yoshiaki, KOJIMA Hidetaka, YAMAZAKI Shinichiroh, KOMOTO Shigekazu, TAKAYAMA Kei, SATOH Osamu, HAYASHI Shuichiroh, NISHIJIMA Yasuhiro, KINOSHITA Eisaku, EZOE Satoshi, DOI Satomi, YOSHIMURA Kensuke, ISUMI Aya, TERATANI Toshiyasu, OGURA Masayuki, SATOH Daisuke, ICHINOHE Kazushige]						
開講時期	2026 年度前期	対象年次	1	単位数	3		
実務経験のある教員による授業				授業形態	対面		
全て日本語で行う。							
主な講義場所 基本的には、ライブと対面授業を併用する。授業日程から変更が生じた場合には予め周知する。							
授業の目的、概要等 授業目的及び概要 医療法に基づき、都道府県は医療計画を定めることとされている。本計画では、基準病床の設定などのほか、域内において政策医療をどのように提供するかも定めなくてはならない。2024 年度からの第 8 次医療計画においては、今般のコロナ感染症の流行を踏まえ「新興感染症等の感染拡大時における医療」も加えた5疾病(がん、脳卒中、心筋梗塞等の心血管疾患、糖尿病、精神疾患)、6事業(救急、災害、へき地、周産期、小児、新興感染症等)及び在宅医療がその対象となっている。さらに、地域医療構想の最終年度を迎え、新たな構想に関する議論も進んでいる。そこでは、医師の地域偏在や、高齢者救急・在宅医療・介護連携、遠隔医療が主要な論点となっている。他方、医療提供体制の政策枠組みとして、医療計画と別に、個々の疾患特性等に着目した政策枠組み(主に厚労省健康局等で主導)も存在しており、医療提供体制を理解するためには両者の理解が不可欠である。特に、後者は病院や医療従事者の配置のみならず、研究開発や従事者研修、各種補助事業などニーズベースでの政策が展開されており、我が国の医療政策の特徴ともいえる。こうした云わば政策の”縦糸”とともに、我が国の医療を形づくるもう一つの特徴は、公的医療保険制度の基礎となる診療報酬制度である。この”横糸”は厚生労働大臣の諮問機関である中央社会保険医療協議会(中医協)における議論を経て、2 年に一度、改定され、きめ細かな報酬上の評価により、我が国の医療を支える仕組みとなっている。これらの経糸と横糸をどのように組み合わせ、日本の医療を主導していくかが医療政策の要点である。 本科目では、縦糸である医療提供を担保する諸制度と、横糸である診療報酬制度の理解を踏まえつつ、これら諸制度の企画立案の当事者(及び経験者)として第一線で活躍している行政官、識者の講話を交えながら展開する。							
授業の到達目標 <ul style="list-style-type: none"> ・医療計画制度の沿革や意義、具体的な内容について理解する。 ・医療政策は、医療計画が独立して存在するのではなく、各種疾病対策としての政策、診療報酬による対応などトータルで効果を発揮することを理解する。 ・医療計画に記載される事項の奥にある政策課題とその対応の方向性についても理解を深める。 							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	4/16	18:00-19:30	共用講義室 2	わが国の尊厳死の現状～韓国とカナダと比較して～	終末期医療において延命措置拒否を尊厳死、致死薬物投与を臨終期医療援助という。どちらも本邦ではあまり知られていない。対照的に韓国とカナダでは、それぞれ法制化され実践されている。	岡田 就将, 北村 義浩	公益財団法人日本尊厳死協会理事長の北村義浩氏を交え、終末期医療の在り方を考える。
2	4/16	19:40-21:10	共用講義室	医療政策・医療経営の最	地域医療構想の見直しや医療 DX	岡田 就将,	社会保険診療報

			室2	近の話題～支払基金の 抜本改組とともに～	の推進などといった医療を取り巻く最近の話題について私見を交えた解説を述べる。また、医療経営において重要な行政機関へのアプローチの秘訣、医療機関の基本理念の重要性などについても触れる。	山本 光昭	酬支払基金本部 理事の山本光昭氏を交え、わが国の公的医療保険制度のハブである支払基金業務の実態と、今後の医療政策・医療機関経営の在り方をかんげる。
3	4/20	18:00-19:30	共用講義 室2	回復期病棟の経営戦略 と将来展望	回復期病棟の経営に関する課題と戦略に関して、診療報酬改定の経緯や今後の論点、改定が病院経営に与える影響や、リハビリテーション人材の獲得における実情等を交えた講義を行います。	岡田 就将, 天辰 優太	厚生労働省で診療報酬改定に従事し、現在は、平成医療福祉グループの副代表を務められている天辰優太氏を交え、回復期病棟について考える。
4	4/20	19:40-21:10	共用講義 室2	民間保険開発担当者から見た公的医療保険財政について	日本の医療制度は、民間の高収益と公的財政の赤字という世界でも稀なパラドックスを抱えています。本講義にて、海外の医療保険や、日本の自動車保険等も参考にし、今後の医療保険財政の在り方を議論いたします。	岡田 就将	アクサ生命保険株式会社で保険の開発を担当されている河島鉄郎氏を交え、わが国の公的医療保険を民間保険会社の視点から見つめ直す。
5	4/22	18:00-19:30	共用講義 室2	厚生労働省における看護行政の動向	タスク・シフト/シェアの推進、看護業務の効率化や生産性の向上など社会情勢の変化に対応する看護が求められるなか、看護に関する諸課題と厚生労働省の取り組みについて説明します	岡田 就将, 初村 恵	厚生労働省看護課看護サービス推進室長の初村恵氏を交え、今後の看護政策の在り方を考える。
6	4/22	19:40-21:10	共用講義 室2	データヘルス改革、疾患登録と研究利用の推進	医療、介護、個人の健康管理情報からビッグデータを構築し、より実効性のあるサービス提供に活かすデータヘルス改革が進んでいる。本講義では、わが国のデータヘルスを概説し、医療情報の二次利用について議論する。	岡田 就将, 涸原 克仁	厚生労働省でがん登録制度の企画に従事した経験を有し、現在は製薬企業で疾患レジストリ情報を用いた医学研究のリーダーとして活躍中の涸原克仁氏を交え、疾患レジストリ情報の活用の在り方を考える。
7	5/21	18:00-19:30	共用講義 室2	歯科保健医療の概観	歯科疾患の構造変化、歯科受診患者の高齢化・多様化、医療技術の進歩など、歯科保健医療を取り巻	岡田 就将, 堀 義明	厚生労働省の歯系医系技官である堀義明氏を交じ

					く環境は変化してきている。歯科の診療報酬改定も含めた歯科保健医療政策について概説する。また、産業構造や歯科関連ビジネスについても触れる。		え、診療報酬を含めた歯科保健医療政策の動向及び歯科系ビジネスの在り方などを考える。
8	5/21	19:40-21:10	共用講義室2	病院経営改善演習	実際の経営不振病院のデータを用い、受講者が仮想病院長として収益改善策を立案・発表する。討議を通じて病院の基本的な収支構造を理解するとともに、医療制度を踏まえた実践的な経営改善手法を修得する。	岡田 就将 小嶋 秀卓	CHCP 株式会社 地域ヘルスケア連携基盤で常務取締役を務める小嶋秀卓氏を交え、地域包括ケアシステムを実現する病院経営の在り方を事例を交え考える。
9	5/25	18:00-19:30	ライブ	公立病院の現状と課題～千葉県を例に～(仮)	我が国の急性期医療の主体を担う公立病院の実情及び直面する環境、今後のあり方を考える。	岡田 就将 山崎 晋一郎	2023年の総合救急災害医療センターの開設を主導した千葉県病院局長・山崎晋一郎氏を交え、公立病院の今後の方向性について考える。
10	5/25	19:40-21:10	ライブ	高度先進医療の保険診療における評価のありかた	ロボット手術や粒子線治療など、先進的な医療技術が広がる中、こうした高額な治療を、医療保険制度でいかに提供し続けることができるかが課題となっています。今回の講義ではこうした高度先進医療の保険診療における評価の現状や課題、今後の方向性について説明します。	岡田 就将 古元 重和	厚生労働省保険局医療課企画官に医薬品の費用対効果評価導入を主導され、現在は北海道大学医療政策評価学教室教授としてご活躍中の古元重和氏を交え、新たな医療の保険上の評価の在り方を考える。
11-12	5/27	18:00-21:10	大学院講義室2	医療とビジネスとお金	医療従事者にとって学ぶ機会が少ない、自費クリニック、MS法人、医療ビジネスの経営や資金調達、個人の資産形成や運用についてその仕組みを解説し、理解を深める。	岡田 就将 高山 啓	幅広い医療ビジネスを手掛けるATKグループCEOの岡部篤史氏、厚生労働省医系技官で循環器内科医でもある高山啓氏を交え、わが国の医療における自由診療、関連ビジネスの在り方など、

							事例を通じて考える。
13	6/1	18:00-19:30	大学院講義室2	精神保健医療福祉の現状と今後	精神保健医療福祉をめぐるこれまでの経緯や現状を概観し、新たに精神医療が加わる地域医療構想や精神障害者の地域移行、精神保健指定医制度をはじめとする諸制度の見直しなど、今後の課題と方向性を展望します。	岡田 就将 佐藤 理	厚生労働省精神・障害保健課で精神医療提供体制等の政策を指導している佐藤理氏を交え精神保健医療政策のあり方を考える。
14	6/1	19:40-21:10	共用講義室2	医薬品開発・治験と薬事承認・薬価制度	医薬品を医療現場に届けるためには、品質・有効性・安全性の確保が基本となります。薬事承認や薬価算定における評価の視点から見た開発・治験の留意点等を概説します	岡田 就将	厚生労働省医薬品審査管理課長を務められている紀平哲也氏を交え、わが国の薬事政策や薬価政策などを考える。
15	6/3	18:00-19:30	共用講義室2	医療における薬剤師の現在地～期待と課題～	薬剤師の法的位置付け、薬局及び病院薬剤師の業務の現状とその将来像、さらに社会構造の変化や高度化する現代医療の中で薬剤師に対する期待や課題について解説します。	岡田 就将	日赤医療センター薬剤部長として、ご活躍中の細谷治氏を交え、社会において薬剤師や薬局の果たすべき役割について考える。
16	6/3	19:40-21:10	共用講義室1	法務省の医療現場から	刑務所や拘置所などの法務省の施設では、被収容者の健康管理を目的とした「矯正医療」が行われている。近年は収容者の高齢化や不法滞在者への対応のほか、刑法や少年法などの法改正による現場の変化について考える。	岡田 就将	矯正医官として矯正医療の最前線で活動されている三神信太郎氏を交え、わが国の矯正医療の現状と課題を考える。
17	6/4	18:00-19:30	共用講義室1	地域医療課題に肉薄するマネジメントスキルと若手医療イノベーター育成のプログラムの実情	MBA等を保持する医療者等を指導者とする「イノベーター育成臨床研修コース」の立ち上げなどにより、県全体の臨床研修医を1.5倍に増やした事例などを踏まえ、若手医師と地域のニーズを踏まえたマネジメントやイノベーションについて講義する。	岡田 就将	医系技官として10年程度の修練ののち、新潟県福祉保健部長として3年半の出向経験があり、現在は文部科学省医学教育課企画官として活躍中の松本晴樹氏を交え、地域の医療を支える人材養成のあり方を考える。
18	6/4	19:40-21:10	共用講義室1	2026年6月診療報酬改定について(仮)	診療報酬改定には、時代に応じて医療提供体制を整える役割も期待されている。今般の診療報酬改定	岡田 就将 林 修一郎	厚生労働省保険局医療課長の林修一郎氏を交え、

					に定められた意図などを考える。		今般の診療報酬改定に定められた意図を考える。
19	7/13	18:00-19:30	共用講義室1	将来の地域医療の姿	改正医療法が昨年12月に公布され、新たな地域医療構想や医師偏在対策などの取り組みが順次開始されているが、将来に向けて地域医療をどう維持していくのか、最近の施策の動きについて解説する。	岡田 就将 西嶋 康浩	厚生労働省医政局地域医療計画課長の西嶋康浩氏を交え、次なる地域医療構想で実現を図る今後のわが国の医療提供体制の姿について考える。
20	7/13	19:40-21:10	共用講義室1	がん・疾病対策について(仮)	医療政策の軸として、疾病の観点からの政策企画・立案を学ぶ。具体的には、がん、循環器、腎疾患対策の法的枠組み、政策予算のながれ、政策研究との関係など。	岡田 就将	厚生労働省健康・生活衛生局がん・疾病対策課長の鶴田真也氏を交え、がん対策など疾病対策の現状と、患者も交えた政策作りについて考える。
21	7/15	18:00-19:30	ライブ	医療DXの推進に向けた政府の取組について	政府は、より良質な医療やケアを受けられるよう、社会や生活の形を変える医療DXの推進に取り組んでいる。特に、2030年までの医療情報の共有化に向けた電子カルテ情報共有サービスの構築と標準化された電子カルテ	岡田 就将 木下 栄作	厚生労働省医政局参事官(医療情報担当)の木下栄作氏を交え、わが国の医療DX政策の推進について考える。
22	7/15	19:40-21:10	ライブ	グローバルヘルス政策の動向について	本講義では、講師の厚生労働省、外務省、国連機関等での実務経験に基づき、政府と世界的なグローバルヘルスの動向を解説する。具体例として、WHO改革、世界的な国際保健の体制強化、「パンデミック協定」交渉、UHCに関する日本や世界の動向などを取り上げる。	岡田 就将 江副 聡	厚生労働省国際保健戦略管理官の江副聡氏を交え、グローバルヘルス政策を考える。
23	7/16	18:00-19:30	共用講義室1	診療報酬改定から読み解くこれからの医療介護連携	本講義では、今般の診療報酬改正での包括期から慢性期の評価、外来・在宅を振り返りながら、これら医療機関が果たすべき役割について考える。	岡田 就将	厚生労働省保険局医療課で報酬改定を担当された鈴木里彩氏を交え、これからの医療介護連携を考える。
24	7/16	19:40-21:10	共用講義室1	まとめ	医療政策各論の総括として今後のわが国の医療の形を考える。	岡田 就将	グループディスカッションの予定

授業方法

講義形式、討議、発表、事例検討などによる。

授業内容

医療計画制度総論、医療計画制度各論、疾病対策として施策体系を理解する。

成績評価の方法

成績評価は、テスト結果または提出されたレポートや発表の内容(50点)と講義への出席および総合討議等への参加状況(50点)を総合して評価する。

成績評価の基準

上記合計で60点以上(100点満点)を合格とする。

準備学習等についての具体的な指示

厚生労働省／中央社会保険医療協議会(資料・議事録)

https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/shingi-chuo_128154.html

厚生労働省／社会保障審議会医療部会(資料・議事録)

https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/shingi-hosho_126719.html

厚生労働省／新たな地域医療構想等に関する検討会

https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/other-isei_436723_00010.html

厚生労働省／がん対策推進協議会(資料・議事録)

厚生労働省／循環器病対策推進協議会(資料・議事録)

などの公的資料を確認すること。

【グローバルヘルスに関するもの】

○江副聡(2024)「新型コロナ外交と「コロナ後」の国際保健外交戦略」『雑誌 外交』 Vol.83 Jan./Feb. 2024

○江副聡(2022)「4章1.グローバルヘルス外交」、日本国際保健医療学会編『実践グローバルヘルス ー現場における実践力向上をめざしてー』杏林書店

○馬淵俊介、江副聡(2021)。「パニック&ネグレクト」を繰り返すな ーワクチンへの公平なアクセスに向けた国際的展開」『雑誌 外交』 Vol.69 Sep./Oct. 2021

http://www.gaiko-web.jp/test/wp-content/uploads/2021/09/Vol69_p110-117_Do_not_repeat_Panic_and_neglect.pdf

○江副聡(2021)「国際保健をめぐる新たな連帯へーユニバーサル・ヘルス・カバレッジとWHO改革」『雑誌 外交』 Vol.65 Jan./Feb. 2021

http://www.gaiko-web.jp/test/wp-content/uploads/2021/01/Vol65_p100-105_New_solidarity_over_international_health.pdf

○江副聡(2020)「6章 UHC 主流化に向けた国際動向と日本の取組み」、城山英明編『グローバル保健ガバナンス』東信堂

○Kishida F. Human security and universal health coverage: Japan's vision for the G7 Hiroshima Summit. Lancet. January 20, 2023
[https://doi.org/10.1016/S0140-6736\(23\)00014-4](https://doi.org/10.1016/S0140-6736(23)00014-4) (English/Japanese)

○[https://www.thelancet.com/journals/lancet/article/PIIS0140-6736\(23\)00014-4/fulltext](https://www.thelancet.com/journals/lancet/article/PIIS0140-6736(23)00014-4/fulltext)

○<https://www.mofa.go.jp/mofaj/files/100448846.pdf>

Ezoe S, Hashimoto J, Nishida Y, Namikawa H, Yoneda M, et al

> <http://etal>. Health outcomes of the G7 Hiroshima Summit: breaking the

> cycle of panic and neglect and achieving UHC. Lancet. 2023 Jun

> 24;401(10394):2091-2093

Satoshi Ezoe. Toward New Solidarity in Global Health: Universal Health

Coverage and Reform at the WHO. Interview by Nakamura Kiichiro,

editor-in-chief, Gaiko (Diplomacy). Discuss Japan-Japan Foreign Policy

Forum No. 67. 2021

https://www.japanpolicyforum.jp/pdf/2021/no67/DJweb_67_dip_02.pdf

Satoshi Ezoe, et al(<http://etal>). “Case study: The Political

Declaration of the High-Level Meeting on Universal Health Coverage (2019):

Negotiating the most comprehensive agreement ever reached on global

health,” A guide to global health diplomacy (pp. 235-252). 2021

○<https://www.graduateinstitute.ch/sites/internet/files/2021-02/GHC-Guide.pdf>

<p>試験の受験資格</p> <p>講義日の過半数出席の場合に受験資格を認める。</p>
<p>構成ユニット</p> <p>医療法、医療計画、基準病床、地域医療構想、病床機能報告制度、5疾病6事業在宅、がん基本計画、循環器基本計画、精神保健福祉、介護保険制度</p>
<p>モジュールの単位判定</p> <p>成績評価は、提出されたレポートや発表の内容(50点)と講義への出席および総合討議等への参加状況(50点)を総合して評価する。</p>
<p>教科書</p> <p>教科書は指定しない。</p>
<p>参考書</p> <p>①「日本の医療 制度と政策(増補改訂版)」島崎謙治(東京大学出版会)</p> <p>②「公衆衛生の思想」多田羅浩三(医学書院)</p> <p>③「日本の医療と介護」池上直樹(日本経済新聞出版社)</p> <p>④「この国の医療のかたち 医療政策の動向と課題 2025年のヘルスケアシステム」尾形裕也(日本看護協会出版部)</p> <p>⑤「ビッグデータと事例で考える日本の医療・介護の未来」松田晋也(勁草書房)</p> <p>⑥「医療経済学の基礎理論と論点 講座 医療経済・政策学」第1巻～第6巻(勁草書房)</p> <p>⑦「医療経営学」今村知明、康永秀生他(医学書院)</p> <p>⑧「もっと気になる社会保障」権文善一(勁草書房)</p> <p>⑨「戦後医療の五十年」有岡二郎(日本医事新報社)</p> <p>⑩「戦後行政の構造とディレンマ 予防接種行政の変遷」手塚洋輔(藤原書店)</p> <p>⑪「物語 介護保険」大熊由紀子(岩波書店)</p> <p>⑫「精神保健学 序説」篠崎英夫(へるす出版)</p> <p>その他必要に応じて指示する。</p>
<p>他科目との関連</p> <p>「医療保険論」「医療機能評価」「医学概論」と関連する。</p>
<p>履修上の注意事項</p> <p>総合討議などには積極的な参加が望まれる。</p>
<p>連絡先(メールアドレス)</p> <p>岡田 就将:sokdhcm@tmd.ac.jp</p> <p>土井 理美:doi.hlth@tmd.ac.jp</p> <p>佐藤 大介:daisukesato0818@gmail.com</p>
<p>オフィスアワー</p> <p>岡田 就将:毎週水曜日PM1:00-PM3:00 MDタワー16 階南</p> <p>事前にご連絡ください。</p>

時間割番号	31622				
科目名	病院設計・病院設備	科目ID	GA-b4061L		
担当教員	沖 拓弥, 伊藤 昭, 近藤 彰宏[OKI Takuya, ITO Akira, KONDO Akihiro]				
開講時期	2026 年度通年	対象年次	1～	単位数	1
実務経験のある教員による授業				授業形態	メディア利用科目
<p>全て日本語で行う。 キーワード: 建築計画, 防災計画, 医療プロジェクトマネジメント(PM), 設備計画</p>					
主な講義場所					
ライブ					
授業の目的、概要等					
<p>授業目的 医療施設及び付属設備の目的, 構造, 機能, 役割などについて, 建築設計・建築計画という観点から理解する. 医療マネジメントの専門家として, 医療施設の建築や維持管理などに必要な知識を習得する. 建築に関する教養と一般知識を身につける。</p> <p>概要 各種病院施設の地域的計画, 全体計画, 各部門(病棟・外来・診療・供給・管理等)計画の基礎的事項について, 人・物・情報の流れ, 建物形態, 面積規模, 施設利用者への配慮等の観点から講述する。また, 病院施設に求められる物理化学的環境とそれを創出する設備(空調和・給排水衛生等)について実際の病院施設の事例をふまえて講述する。</p>					
授業の到達目標					
病院施設の計画に関わる基礎的事項の修得、病院設備のメカニズムの修得					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	8/31	18:00-21:10	ライブ	建築計画概論／病院施設の建築計画と設計の概要	沖 拓弥
2	9/1	18:00-21:10	ライブ	病院施設の建築計画と設計の概要／病院施設のプロジェクトマネジメント	沖 拓弥 近藤 彰宏
3	9/2	18:00-21:10	ライブ	病院施設のプロジェクトマネジメント	近藤 彰宏
4	9/3	18:00-21:10	ライブ	病院設備の概要とメカニズム	伊藤 昭
授業方法					
講義形式による。					
授業内容					
<p>① 建築計画概論(沖) ② 病院施設の建築計画と設計の概要(沖) ③ 病院施設のプロジェクトマネジメント(近藤) ④ 病院設備の概要とメカニズム(伊藤)</p>					
成績評価の方法					
<p>課題レポート評価による(100点)。実在の医療施設の現況に関する問題に注目し, 施設の改善及び運用の改善による解決方法について, 授業で得た知識を交えながら論述する課題を出題する。問題設定の適切さ, 解決方法の提案から伺える当事者意識, 解決方法の内容などを評価対象とする。課題講義への参加(出席及び質疑応答)は課題遂行にとって必須である。</p>					
準備学習等についての具体的な指示					
<p>・履修者の関わる(或いは訪れた)医療施設にて, 医療施設にて建築がつくる環境と人々(医療従事者や利用者など)との関わり方, 設備(電気・空調・衛生・搬送)システムが支える機能や求められる性能などを意識して観察する。</p>					
参考書					
TBA					
履修上の注意事項					
<p>「6.2 衛生工学・汚染管理」との関連性は特に高く, 先に本科目を履修しておくことが望ましい。また, 医療の質の確保と危機管理系の各科目の基礎科目として密接に関連するものである。</p>					
備考					

特になし。

連絡先(メールアドレス)

沖 拓弥 okite60f@misct.ac.jp

伊藤 昭 akiito103@gmail.com

近藤 彰宏 kondoua.conder@gmail.com

オフィスアワー

沖 拓弥 E-mail 及びアポイントにより対応する。

伊藤 昭 オフィスアワーは特に定めないが、授業内容の問い合わせに関しては、電子メールで連絡を取ることであり、適宜これに対応する。

時間割番号	31623																																		
科目名	衛生工学・汚染管理	科目ID	GA-b4062L																																
担当教員	鍵 直樹, 伊藤 昭, 海塩 渉[KAGI Naoki, ITO Akira, UMISHIO Wataru]																																		
開講時期	2026 年度通年	対象年次	1～	単位数	1																														
実務経験のある教員による授業				授業形態	メディア利用科目																														
<p>全て日本語で行う。 キーワード: 病院, 衛生環境, 設備計画・設計</p>																																			
<p>主な講義場所 ライブ</p>																																			
<p>授業の目的、概要等 授業目的 本科目では、以下の点を含めた汚染管理の基礎的知識を修得させることを目的とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病院施設の汚染管理の原則 ・病院施設の空調・給排水設備 ・病院建築計画と感染管理 <p>概要 医療施設における衛生的環境の確保は、病院内感染の予防に向けた重要な課題である。本科目では、施設の汚染管理の面から、汚染管理の原則、隔離手法、汚染源と汚染物質、空気清浄と空気調和、水利用、クロスコンタミネーションの防止、病院の廃棄物と処理、エネルギー管理などについて講述する。</p>																																			
<p>授業の到達目標 医療施設の管理運営や医療政策の実務を専門とする者は、医療施設内の衛生に関わる工学の基礎的知識を有し、汚染管理の基本理念を理解している必要がある。本科目では、建築学や経営管理学などの工学分野における学部教育に準じた知識の修得を目標とする。</p>																																			
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>9/14</td> <td>18:00-21:10</td> <td>ライブ</td> <td>病院施設の汚染管理の原則</td> <td>鍵 直樹</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>9/15</td> <td>18:00-21:10</td> <td>ライブ</td> <td>病院施設の空調・給排水設備</td> <td>海塩 渉</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>9/16</td> <td>18:00-21:10</td> <td>ライブ</td> <td>建築計画と感染防止の考え方</td> <td>伊藤 昭</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>9/17</td> <td>18:00-21:10</td> <td>ライブ</td> <td>感染防止の具体</td> <td>伊藤 昭</td> </tr> </tbody> </table>						回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	1	9/14	18:00-21:10	ライブ	病院施設の汚染管理の原則	鍵 直樹	2	9/15	18:00-21:10	ライブ	病院施設の空調・給排水設備	海塩 渉	3	9/16	18:00-21:10	ライブ	建築計画と感染防止の考え方	伊藤 昭	4	9/17	18:00-21:10	ライブ	感染防止の具体	伊藤 昭
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員																														
1	9/14	18:00-21:10	ライブ	病院施設の汚染管理の原則	鍵 直樹																														
2	9/15	18:00-21:10	ライブ	病院施設の空調・給排水設備	海塩 渉																														
3	9/16	18:00-21:10	ライブ	建築計画と感染防止の考え方	伊藤 昭																														
4	9/17	18:00-21:10	ライブ	感染防止の具体	伊藤 昭																														
<p>授業方法 講義形式による。</p>																																			
<p>授業内容 1 病院施設の汚染管理の原則(鍵) 2 病院施設の空調・給排水設備(海塩) 3 建築計画と感染防止の考え方(伊藤) 4 感染防止の具体, ほか(伊藤)</p>																																			
<p>成績評価の方法 講義への参加状況(30%)、レポート(70%)により評価する。</p>																																			
<p>準備学習等についての具体的な指示 特に必要は無いが、講義に伴う演習等の復習を必要とする。</p>																																			
<p>参考書 未定</p>																																			
<p>他科目との関連 汚染管理には施設・設備の設計が大きく関わるため、「6.1 病院設計・病院設備」を履修していることが望ましい。</p>																																			
<p>備考</p>																																			

特になし。

連絡先(メールアドレス)

鍵 直樹:kagi.n.dc49@m.isct.ac.jp

伊藤 昭:akiito103@gmail.com

海塩 渉:umishio.w.aa@m.titech.ac.jp

オフィスアワー

鍵 直樹:オフィスアワーは特に定めませんが、授業内容の問い合わせに関しては、電子メールで連絡を取るにより、適宜これに対応する

伊藤 昭:オフィスアワーは特に定めませんが、授業内容の問い合わせに関しては、電子メールで連絡を取るにより、適宜これに対応する。

時間割番号	31627				
科目名	人的資源管理	科目ID	GA-b4081L		
担当教員					
開講時期	2026 年度後期	対象年次	1～	単位数	1
実務経験のある教員による授業				授業形態	対面
準備学習等についての具体的な指示					
2026 年度休講					

時間割番号	31640			科目ID	GA-b4104L		
科目名	医療とリーダーシップ			科目ID	GA-b4104L		
担当教員	岡田 就将, 國光 文乃, 井原 正裕, 前田 俊輔, 寺谷 俊康, 江崎 禎英, 田中 雄二郎, 藤井 靖久, 倉持 仁 [OKADA Shusho, KUNIMITSU Ayano, IHARA Masahiro, MAEDA Shunsuke, TERATANI Toshiyasu, ESAKI Yoshihide, TANAKA Yujiro, FUJII Yasuhisa, KURAMOCHI Jin]						
開講時期	2026 年度通年	対象年次	1~	単位数	1		
実務経験のある教員による授業				授業形態	メディア利用科目		
全て日本語で行う。							
主な講義場所 原則、遠隔(同期型)で行う。							
授業の目的、概要等 授業目的 医療に関係する組織運営や政策決定に必要なリーダーシップおよびそれを支える方法論について理解する。 概要 病院など医療に関係する組織の運営には、雇用する職員の特殊性や提供するサービスの公共性、サービスの対価として得られる報酬など、他のサービスを提供する組織運営とは異なる点が多い。また、医療等のニーズは変化(中長期的な変化とともに危機対応など短期的なものも含む)が見込まれており、その変化を先取りした組織転換を主導するリーダーシップへの期待は大きい。このことは、固有の組織のみならず、医療政策そのものについても言える。本科目では、各分野の識者からの講話等を通じて、保健医療分野での組織運営や政策決定におけるリーダーシップの発揮を可能とする要因を理解し、それを支える方法論についても学ぶこととする。							
授業の到達目標 ・医療に関係する組織の特殊性を理解できる。その特殊性を理解したうえで、リーダーシップの発揮について自らの見解を述べることができる。 ・医療に関係する政策の企画立案実行の特殊性を理解できる。その特殊性を理解したうえで、リーダーシップの発揮について、自らの見解を述べることができる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	11/16	18:00-19:30	ライブ	人生 100 年時代の医療の在り方 ~免疫力向上のための日常的アプローチ~	健康は個々の努力だけで実現することは困難であり、地域社会の関与は不可欠である。知事のリーダーシップの下、岐阜県での地域文化をベースにした取り組みから健康政策におけるリーダーシップを考える。	岡田 就将, 江崎 禎英	経済産業省において企業の健康経営の推進を主導するなど日本のヘルスケアの中心人物であり、現在、岐阜県知事として活躍中の江崎禎英氏を交え、地方自治における今後の医療・健康づくりの在り方を考える。
2	11/16	19:40-21:10	ライブ	外科医出身の国会議員の使命	少子高齢化や医療の高度化が進む中、医療提供体制の確保は喫	岡田 就将	本学出身の外科医であり、昨年の

					緊の政策課題であり、直近では医療法改正など重要法案が審議された。外科医出身の国会議員として、持続可能な社会保障をめぐる議論を主導する姿を伝える。		参議院議員選挙で当選された川村雄大氏を交え、外科医目線から医療政策のリーダーシップを考える。
3	11/17	18:00-19:30	ライブ	医療・介護サバイバルを生き抜くには？	超高齢化の終焉と物価上昇により医療・介護 経営は転換期を迎えている。2040 年を見据え、急性期再編と医療＝介護連携が重要となる中、現場実績を基に DX や地域マーケティング等による持続可能な戦略を考察する。	岡田 就将、 前田 俊輔	自ら病院・介護施設を経営し、同時に、医療介護の業務システムの構築にも取り組む前田俊輔氏を交えて、介護サービスのこれからの運営について考える。
4	11/17	19:40-21:10	ライブ	医療とリーダーシップ) 一生涯政策実践編@ 永田町一	衆議院議員として数々の要望を受ける中で、議員は何を感じているか、政策を成就させるために何が必要かを議員目線で考える。	岡田 就将、 國光 文乃	厚生労働省医系技官から衆議院議員に転身された國光文乃氏を交え、我が国の医療政策における政治の役割を考える。
5	11/18	18:00-19:30	ライブ	病院・介護施設の立て直し戦略について	医療制度改革が行われているが、時代の変化に追いついていない。この中で、病院の経営状況は悪化の一途をたどっている。公立病院・介護施設・民間病院での経営改革の実践を踏まえ、そのリーダーシップを説明する。	岡田 就将、 一戸 和成	厚生労働省医系技官として2014年診療報酬改定をとりまとめ、診療報酬を熟知した経営者として病院等の立て直しなどの実績のある一戸和成氏を交え、医療機関等の経営とは何か、立て直しに必要なことなどを考える。
6	11/18	19:40-21:10	ライブ	病院運営に求められるリーダーシップとマネジメント	多数の専門職を抱え、非営利組織であるなどの特徴をもつ医療機関が、社会環境の変化など様々な課題に対応し、持続可能な運営を行うため、病院幹部に求められるリーダーシップやマネジメントについて考えます	岡田 就将、 井原 正裕	現職の医系技官で、地域医療機能推進機構本部医療部長等を歴任し、現在は京都府健康福祉部長である井原正裕氏を交え、事例を踏まえながら、病院運営におけるリーダーシップとマ

							ネジメントについて考える。
7	11/19	18:00-19:30	ライブ	地域のかかりつけ医としてのリーダーシップ論(仮)	累次の診療報酬改定や物価人件費の高騰により、診療所経営は厳しさを増している。その中で、土日を含め地域のかかりつけ医としての診療所マネジメントを考える。	岡田 就将 倉持 仁	コロナ禍の中、テレビや国会等で医療現場の現状を積極的に発信し、本学卒業生でもある倉持仁先生を交え、診療所経営におけるリーダーシップの実際、現場から医療政策への関わり方などを考える。
8	11/19	19:40-21:10	ライブ	わが国の健康危機管理の現状と課題 ~危機・災害時のリーダーシップ~	福島原発事故やコロナ感染症など近年の健康危機管理事案への具体的な対応を振り返りながら、危機時の事業及び組織運営の在り方を考える。	岡田 就将 寺谷 俊康	厚生労働省医系技官として、数々の健康危機事案の対応に従事し、現在は政府内閣官房において、災害時の病院船の活用等の政策の責任者を務めている寺谷俊康氏を交え、健康危機管理について考える。

授業方法

講義形式、討議、発表、事例検討などによる。

授業内容

別表の通り

成績評価の方法

成績評価は、テスト結果または提出されたレポートや発表の内容(30点)と講義への出席および総合討議等への参加状況(70点)を総合して評価する。

成績評価の基準

上記合計で60点以上(100点満点)を合格とする。

準備学習等についての具体的な指示

- ・「コロナ禍を探る」(医科歯科大公報誌)https://www.tmd.ac.jp/files/topics/55825_ext_26_0.pdf
- ・「コロナ禍を探る2」(医科歯科大公報誌)https://www.tmd.ac.jp/files/topics/56865_ext_26_0.pdf

試験の受験資格

講義日の過半数出席の場合に受験資格を認める。

構成ユニット

政治と行政、大学の役割、人材育成、組織経営(大学、病院、介護施設等)、政策リーダーシップ

モジュールの単位判定

成績評価は、テスト結果または提出されたレポートや発表の内容(30点)と講義への出席および総合討議等への参加状況(70点)を総合して評価する。

教科書

<p>社会は変えられる：世界が憧れる日本へ／江崎禎英著,江崎, 禎英,国書刊行会, 2018</p> <p>遠隔医療が高齢者医療を救う：AIがひらく個別化医療の時代／前田, 俊輔, 1968-,前田俊輔 著:PHP 研究所, 2017.5</p> <p>倉持仁の「コロナ戦記」：早期診断で重症化させない医療で患者を救い続けた闘う臨床医の記録／倉持, 仁, 1972-,倉持仁 著:泉町書房, 2021.10</p> <p>日常を取り戻すために必要なこと：コロナ2万人診断、闘う臨床医の提言：倉持仁の「コロナ戦記2」／倉持, 仁, 1972-,倉持仁 著:泉町書房, 2022.11</p> <p>特に指定しない。</p>
<p>参考書</p> <p>防災白書（内閣府）など</p>
<p>他科目との関連</p> <p>「医療政策概論」「医療政策各論」と関連する。</p>
<p>履修上の注意事項</p> <p>総合討論などには積極的な参加が望まれる。</p>
<p>連絡先(メールアドレス)</p> <p>岡田 就将:sokdhcm@tmd.ac.jp</p> <p>田中 雄二郎:ytanaka.merd@tmd.ac.jp</p> <p>藤井 靖久:y-fujii.uro@tmd.ac.jp</p>
<p>オフィスアワー</p> <p>岡田 就将:毎週水曜日PM1:00-PM3:00 MDタワー16 階南</p> <p>事前にご連絡ください。</p>

Web講義では使用しません。対面講義の際に一部の講義で使用します。

学生の出欠確認について Attendance System

学生の出欠確認については、原則として、カードリーダーで学生証を読取る手法を導入しています。授業開始前に、下記の方法で行ってください。

但し、授業により他の手法をとる場合もありますので、その場合は担当する先生の指示に従ってください。
※2コマ、3コマ続きの講義の場合、各講義開始前に毎回カードリーダーにタッチすること。

ただし、初期研究研修については、出席した日の初回のみでのタッチで可（毎日カードタッチは必要。）

※カードリーダーにタッチした際、カード読み取り部分が青く反応したことを確認すること。

※学生証単体でタッチすること。（財布などに他のIC入りカードが入った状態で財布のままタッチすると、青く反応しても、他のカードが反応し、出席に反映されないことがあるため注意してください。）

※学生証を忘れた場合の出席について

学生証を忘れ、出席管理システムに学生証をかざすことが出来なかった場合、講義に出席したとしても、欠席とみなします。学生証は常に携帯してください。

Basically, your attendance will be taken by the attendance system. Please make sure to pass your student ID card over the system roughly 10 minutes prior to each lecture starts. But for some lectures, it will be recorded in other way. Please follow the instruction of the instructor.

*Even when two or three lectures of the same course are held continually, please pass your ID card over the system each time before a lecture starts.

*Please check if the system flash in blue after you pass your ID card. Blue flash means your card was successfully read by the system.

*Please pass your student ID card along over the system separating from other the cards with IC tip, otherwise the system cannot read your students ID card correctly.

* If you did not pass it over the system or could not do so for not having your student ID card, then your attendance will not be counted and recorded as “absent.”

1. 下の写真のように、各講義室等にカードリーダーが備え付けてあります。



Attendance System are usually on the wall of the lecture room.

2. カードリーダーのタッチパネル面に、学生証をかざしてください。



ここにタッチ！
Please pass your ID over!



Please pass your student ID over the system.

3. パネルが青く光れば読取完了です。赤く光った場合は読取不能ですので再度行ってください。



Flash in Blue
→ Read Successfully

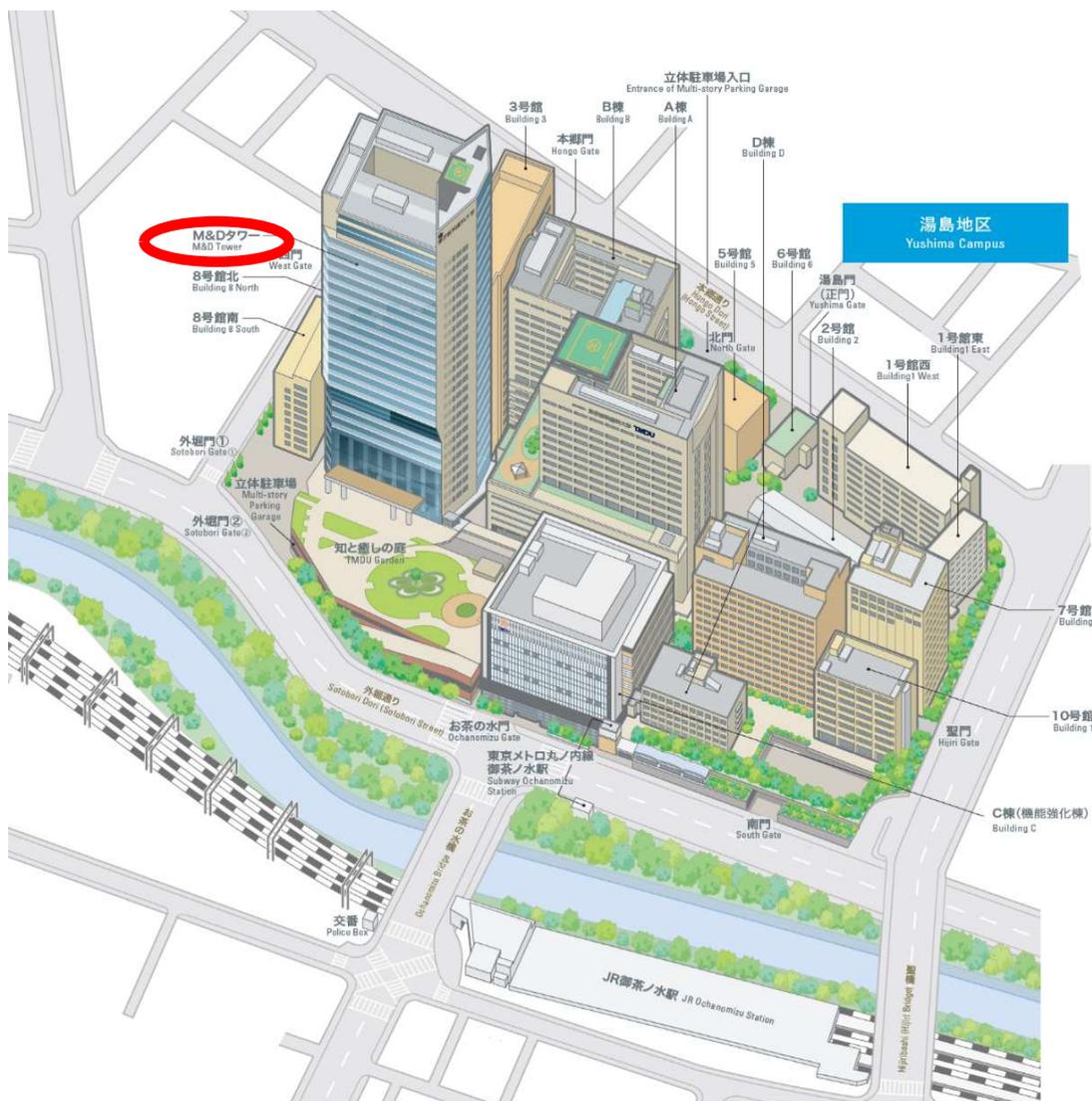
読取完了○



Flash in Red
→ Failed to read and try again.

読取不能×

東京科学大学 M&Dタワー2階共用講義室2



【最寄り駅】JR中央線・総武線御茶ノ水駅下車御茶ノ水橋口
東京メトロ丸ノ内線御茶ノ水駅下車1番出口

〔フロアマップ〕

- ① お茶の水門から入り、立体駐車場に沿って直進してください。
- ② 救急入口が見えますので、そのまま車にお気をつけて、左手に見えるM&Dタワーの1階入口へと進んでください
- ③ 入口横のカードリーダーに受講証（もしくは本学職員証）をかざし、開錠をお願いいたします。
- ④ 建物に入られてお進みいただくとエレベーターがございますので、2階へお上がり下さい。
その先は右フロアマップに従って会場までお越し下さい。



